

# 〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

教授法・FDシリーズ17 (通算 452 回)

2009 年 12 月 22 日 (火)

学習支援策の費用対効果

## 入学前・初年次・リメディアル教育の最前線

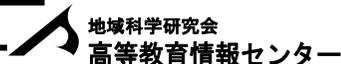
～基礎学力の評価手法／教材開発・学習方式の動向と評価／プレースメントテスト～

- ※ 基礎学力低下の背景／大学の対応策／リメディアル教育を必要としない高校生の育成
- ※ [ナガセ] 95 大学への導入／392 高校ヒアリング結果／教材構成・学習時期・費用／効果測定
- ※ [52school] 大学側管理者機能の充実／AO・推薦入試対象学力評価スコア型テスト／日本版 SAT 構想
- ※ [アートスタッフ] e ラーニング LMS／能動的学習支援／大規模総合大学における入学前教育
- ※ [放送大] オンライン学習大学ネットワーク／全国配信の仕組み・特徴／教材の共有化／展望

### ● 講師陣 ●

- 小野 博 氏 / 放送大学 客員教授・昭和大学 客員教授  
リメディアル教育学会 ファウンダー
- 麻柄 真治 氏 / (株) ナガセ 大学営業部 副本部長
- 稲垣 靖 氏 / ゴートゥースクール・ドット・コム (株) 常務取締役・企画営業部長
- 小林 原 氏 / (株) アートスタッフ東京本社 文教事業部長
- 杉山 秀則 氏 / 放送大学 ICT 活用・遠隔教育センター 助教

2009 年 12 月 22 日 (火) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)



日 時：2009 年 12 月 22 日 (火) 9:30～16:50

会 場：剛堂会館ビル (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)  
千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362

アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より  
徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」  
麹町口より徒歩 10 分  
※会場の地図及び受講証を送付しますので  
必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名 (資料代込)

41,000 円 (消費税込)

B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付)

42,000 円 (送料、消費税込)

※参加費の払い戻しは致しませんので、申し込まれた方  
の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

☆FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ

FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替 00110-8-81660

全ての口座名<(株)地域科学研究会>

※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に  
代えさせていただきます。

申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

Tel: 03 (3234) 1231 / Fax: 03 (3234) 4993

E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)

URL: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/>

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

教授法・FDシリーズ17

2009 年 月 日

入学前・初年次・リメディアル教育の最前線

当日参加  メディア参加

( に  印を入れてください)

勤務先 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

連絡部課・担当者 \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

〈通信欄〉支払方法 (郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類 [ 請求書  見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
9:30 ~ 10:40	<p>□ 大学生の基礎学力の低下の現状と学習支援策の動向 ～プレースメントテストの開発・実施と大学に適した学習支援策の選択～ 放送大学 小野 博</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学生の基礎学力の低下と客観的な学力の測定             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基礎学力の低下の背景 (少子化と入試制度の影響)</li> <li>(2) 客観的な基礎学力測定のためのプレースメントテストの開発</li> <li>(3) プレースメントテストの実施</li> </ol> </li> <li>2. 大学生の基礎学力の把握と大学の対応策の検討             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 日本語力の低下 (全ての学の基本的な道具の向上)</li> <li>(2) 英語力の低下 (はっきりした原因、成功体験と自律学習)</li> <li>(3) 理数系学力の低下 (理系教育と学習支援センター)</li> </ol> </li> <li>3. 学習支援方策の変遷と動向             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 印刷冊子による教材と添削 (2) CD/DVD の利用と添削 (3) eラーニングの導入と支援策</li> </ol> </li> <li>4. リメディアル教育を必要としない高校生の育成             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 中学校の入学前教育 (2) 中学校における英語教育</li> <li>(3) 初出学習の重要性と公教育における教育を受ける機会の保証を (質疑応答)</li> </ol> </li> </ol>
10:50 ~ 12:00	<p>□ [ナガセ] 全国 95 大学の入学前教育を担当して ～“ゆとり”か“詰め込み”かの議論を超えて～ ナガセ 麻柄 真治</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入学前教育 現在の手法の確立まで             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) スクーリングの問題点 (2) 在宅学習の問題点 (3) 入学前教育成立のための解決策</li> </ol> </li> <li>2. 現場から問題点を明確にする             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 全国 392 高校ヒアリング結果から (2) 大学の現場から (3) 企業の立場から</li> </ol> </li> <li>3. 入学前教育システムの概要             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教材構成・学習時期 (2) 学習の仕組み (3) 費用・採択実績</li> </ol> </li> <li>4. 入学前教育の成果             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 成績分析 (2) プレテスト・アフターテストに見る効果測定</li> <li>(3) 受講生のアンケート結果及び今後の課題・まとめ (質疑応答)</li> </ol> </li> </ol>
13:00 ~ 14:10	<p>□ [ゴートウースクール・ドット・コム] AO・推薦入試入学者における入学前教育の意義とプレースメントテストとの接続 ゴートウースクール・ドット・コム (株) 稲垣 靖</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入学前教育におけるメニュー特性             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒の成績状況と問題点 (2) 受講生アンケートから見えてくる入学前教育の本質</li> </ol> </li> <li>2. 入学教育における今後の展開             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) フォローアッププログラム (2) 大学側管理者機能の充実</li> </ol> </li> <li>3. 新プレースメントテストの展開             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 出題フレームと問題コンセプト (2) 成績資料分析から見える問題点</li> </ol> </li> <li>4. AO・推薦入試対象学力評価スコア型テスト【日本版SAT構想】 (質疑応答)</li> </ol>
14:20 ~ 15:30	<p>□ [アートスタッフ] eラーニングによる入学前リメディアル教育における学習支援 ～能動的学習支援の重要性～ (株) アートスタッフ 小林 原</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習支援の全体概要             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学習支援の意図 (2) 基礎学力向上のための学習支援 (3) 能動的学習支援とその効果</li> </ol> </li> <li>2. 法政大学理工学部・生命科学部における実施とその効果             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 実施に至った背景 (2) 学習の仕組みと効果判定 (3) 基礎学力向上のための学習支援</li> <li>(4) 学習支援の具体的な事例 (5) 経年で見る変化</li> </ol> </li> <li>3. eラーニング LMS の特長             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 繰り返し学習による学習効果 (2) 24 時間質問可能</li> <li>(3) 学習進捗度、履歴、理解度の把握の必要性</li> </ol> </li> <li>4. 要件定義について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各種調査 (2) 現状把握 (3) SLA 策定</li> </ol> </li> <li>5. 大規模総合大学における入学前教育の学習支援             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) LMS に依存しない学習支援の構築 (質疑応答)</li> </ol> </li> </ol>
15:40 ~ 16:50	<p>□ [放送大] オンライン学習大学ネットワーク (UPO-NET) の展開 ～汎用教材の提供と教材の共有化に向けて～ 放送大学 杉山 秀則</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オンライン学習大学ネットワークの背景と目的</li> <li>2. 全国の大学へ配信するための仕組み</li> <li>3. 提供コンテンツの特徴と実際</li> <li>4. 試験配信 (UPO-NET トライアル) と今後の展望 (質疑応答)</li> </ol>